

令和6年度第3回釜石市文化財保護審議会の開催結果について

令和6年度第3回釜石市文化財保護審議会を開催したので、次のとおり報告する。

1 開催日時 令和7年2月28日（金） 10時30分～12時00分

2 開催場所 釜石市役所 第7会議室（第4庁舎 3階）

3 委員出席状況

委員11名中9名が出席した。

1) 出席委員 藤原信孝会長、瀬戸元副会長、河東直江委員、鰐沢トモ子委員、千葉愛子委員、藤井サエ子委員、千葉まき子委員、藤井静子委員、松本武委員

2) 欠席委員 佐々木光壽委員、市川淳子委員

4 事務局出席者

高橋勝教育長、佐々木豊部長、正木浩二文化振興課長、手塚新太課長補佐兼文化財係長、加藤幹樹主査

5 傍聴者 なし

6 経過

1) 報告1 第20回釜石市有形文化財公開事業の開催結果について

<協議内容・経過>

事務局から「第20回釜石市有形文化財公開事業の開催結果について」資料及び参考資料に基づき報告した。

【報告概要】

(1) 第20回有形文化財公開事業：『かまいしの歴史文化 5つのストーリー』展

来場者数 320人（内訳：2月1日 70人、2月2日 250人）

(2) 記念講演会：「歴史文化をいかし未来をつくるまち 釜石」をめざして

来場者数 90人（講師：盛岡大学名誉教授 熊谷常正氏）

(3) 結果：双方ともに大盛況であり、アンケート調査結果は多くの賛辞を頂いた

・松本委員 ポスターが少ないと思うのでもっと掲示してもらいたい。また、子どもたちの来場が少なかったように思うので、もう少しPRしてもらいたい。

・事務局 ポスターについては、人の集まる場所に掲示のご協力をいただいている。また、小中学校にポスターの掲示をお願いし、高校生にはSNSを通じて全員にお知らせした。開催日程と模試が重なるなど難しい面もあるが今後善処したい。

- ・瀬戸副会長 講演会の内容について記録はとっているのか。
 - ・事務局 録音しており、内部用にテープ起こしを行う予定である。
- <結果> 質疑応答のうえ、了承を得た。

2) 報告2 三浦命助関係資料について

<協議内容・経過>

事務局から「三浦命助関係資料について」資料及び参考資料に基づき報告した。

【報告概要】

- (1) 三浦命助関係資料が岩手県指定文化財となる見込みについて
釜石市指定文化財である三浦命助関係資料が、岩手県指定文化財となる見込みとなった（県指定では市指定5点を含む35点が指定される予定）。
- ・松本委員 指定になった後、文化財展などでPRしてもらいたい。
- ・藤原会長 岩手県教育委員会や岩手県文化財保護審議会の先生も加わって、調査され、市指定の5件だけではなく、35件もの資料が県指定に引き上げられたことは大変良いことだと思う
- ・瀬戸副会長 三閑伊一揆の中で三浦命助の評価が高いと考えてよいか。
- ・事務局 これまでの研究の中で高く評価されている。また、岩手県指定予定の三浦命助関係資料は三閑伊一揆のことだけではなく、当時の民衆の一個人の思想などが書き記されている等、色々な面からも高く評価されている。
- ・瀬戸副会長 県指定になった後は、利用等について県の許可が必要となるのか。
- ・事務局 今後は県の方で文化財の状態を管理することとなるので、利用する際は県に問い合わせる必要がある。また、市指定から県指定になるので、市指定からは外れることとなる。

<結果> 質疑応答のうえ、了承を得た。

3) 審議1 釜石市指定文化財に係る諮問について

<協議内容・経過>

釜石市教育委員会からの「釜石市指定文化財に係る諮問について」、事務局から資料に基づき説明した。

また、諮問物件である「新道峠（通称：清水峠）の庚申塔」については、事務局及び担当の河東委員から、資料及び参考資料に基づき説明し意見を求めた。

【諮問物件の概要】

- (1) 名称 新道峠（通称：清水峠）の庚申塔
- (2) 員数 1件
- (3) 種別 有形文化財／美術工芸品・歴史資料
- (4) 所有者 個人
- (5) 所在地 釜石市唐丹町字片岸9-5
- (6) 制作年代 天保5年4月（1834年5月）

(7) 文化財の概要

当該文化財は、天保4年（1833年）に発生した飢饉を救済するため、地元の有力者が協力しながら困窮する人々を助ける新道開発を行った記録が線刻されている。なお、揮毫は葛西昌丕（西村善右衛門）によるものである。

本石碑は、天保4年の飢饉とその救済事業である新道開発の歴史を伝えるとともに、葛西昌丕の足跡を伝えるうえで貴重である。

- ・瀬戸副会長 傾いているようであるが、倒れる危険性はないか。
- ・事務局 何度か確認しているが、現状では問題ないと考えられる。
- ・藤原会長 本件については、これまでも議論しており問題ないかと思う。
「新道峠（通称：清水峠）の庚申塔」を指定することにご異議はないか確認したい。
- ・委員 異議なし（拍手）
- ・藤原会長 異議なしと認め、「新道峠（通称：清水峠）の庚申塔」を釜石市指定文化財に相応しいとして、速やかに指定するよう釜石市教育委員会に答申することとする。なお、事務局では指定に必要な手続きを進めるようお願いする。
- ・事務局 了承した。

＜結果＞ 質疑応答のうえ、了承を得た。

4) 議事1 第27回郷土芸能祭の開催日程について

＜協議内容・経過＞

事務局から「議事1 第27回郷土芸能祭の開催日程について」資料及び参考資料に基づき説明し意見を求めた。

【議事概要】

- （1）開催日（案）：令和8年2月8日（日）（リハーサルは前日を予定）
 - （2）開催場所（案） 釜石市民ホール TETTO ホールA
 - （3）運営主体（案） 釜石市文化財保護審議会第2専門部会
 - （4）出演団体（案）
 - 市内団体 最大 8団体
 - 市外団体 最大 1団体
- ・瀬戸副会長 出演団体は市指定となっている団体以外も可能か。
 - ・事務局 可能である。地域や種類のバランスを考えて選定したい。
 - ・松本委員 学校でも郷土芸能を継承しているが、出演してもらえないか。
 - ・事務局 学校の都合もあるができれば依頼したい。
 - ・瀬戸副会長 時期は2月でなければならないか。高校生の参加が難しいと思う。
 - ・事務局 地域のお祭りの時期や、準備期間、主導する大人の時間を考えると2月が有力となる。

＜結果＞ 質疑応答のうえ、了承を得た。

5) 議事2 釜石市指定文化財推進物件について

<協議内容・経過>

事務局から「議議事2 釜石市指定文化財推進物件について」資料及び参考資料に基づき説明し意見を求めた。

【指定候補物件の概要】

(1) 既存：第一専門部会候補（なし）

第二専門部会候補（松倉太神楽・松倉虎舞）

第三専門部会候補（御箱崎の千畳敷）

※御箱崎の千畳敷については国登録文化財への申請も検討中

(2) 新規提案（事務局）：常龍山之碑、和山新規発見のシナノキ

(3) 依頼：その他委員から広くご提案頂きたい

- ・鷲沢委員 御箱崎の千畳敷について、市指定文化財ではなく国登録文化財も検討しているとのことだが、メリットは何か。
- ・事務局 国登録文化財は、国・県・市指定文化財の下位に位置する。しかしながら名称に国が付くことによって、そのネームバリューは高まる。観光資産として考えた場合は非常に有効と考える。
- ・瀬戸副会長 御箱崎の千畳敷について所有者は個人か。道路も悪く何とかできないものか。
- ・事務局 所有者はこれから確認していく。道路については商工観光課が色々と確認していると聞いている。

<結果> 質疑応答のうえ、了承を得た。

以上